

桃原氏「星への理解深めて」

宮地竹史著「沖繩の美ら星」

郡内小中高校と市立図書館に寄贈

八重山の児童生徒に自分たちの住む島々から見える美ら星への理解を深めてもらおうと、角川書店元専務の桃原泉氏（石垣出身、東京都）が29日午後、郡内46の小中高校と石垣市立図書館へ宮地竹史著「沖繩の美ら星」48冊を寄贈した。

石垣市教育委員会2階ホールで贈呈式が行われ、桃原氏の代理でモントル国際経済経営大学客員教授の徳松信男氏と著者の宮地氏から3市町の教育長へ手渡された。

桃原氏は「この本を通し自分たちの島から見える星への理解を深め、天文学にも興味を持ってほしい。」



「沖繩の美ら星」を手にする、左から石垣教育長、代理の徳松氏、著者の宮地氏、田原教育長、田代総務課長。29日午後、石垣市教育委員会2階ホール

また、VTR番組「星の紹介」なども盛り込まれ、民話なども盛り込まれ、明るく読みやすい作りになっている。学校現場で星座観察などのときに使え、貴重な資源。い本を発刊・贈呈していただきありがとうございますと感謝。与那国町教育委員会の田原伊明教育長は「初めて目にしようと

【宜野湾】世界最大級の祭典「ツリーダンス」がRosenbau(日本観光振興協会など主催)が29日、11月1日までの4日間の日程で沖繩コベンスンツで開催。お楽しみ企画として、10月31日から2日間、一般に開放された。この機会を高く評価し、その思いで同書を贈ることになった。あまり星に詳しくない人でも楽しめる。子どもたちが必ず読書好きになる」

市教育委員会の石垣安志と絶賛した。

竹富町教育委員会の田代仁総務課長は「毎年、八重山地区に尽力いただき感謝している。竹富と石垣は星を王国として環境整備を強化し、地域ぐるみで活動し、地域の方、取り組みなどを映像やパネル、パンフレットにPRしている。

このうち竹富地域自然資源財団は昨年9月から取り組みを行っている入島料の取り組を紹介。水野景敬事務理事は「入島料の存在を旅前の段階で周知したい。」

元気に運動会楽しむ

保育園 園児と職員のみで開催



「元日は保育園（前津日）運動会を、伸幼稚園（園児18人）は27日、大浜小学校の

ツリスム紹介する各



商談の中で、来場者はい、てもらい、型「新型コロナ」が、新たな話題になっている。

も事前登録制で公開する。一般入場者2万人を見込み、来場者はい、てもらい、型「新型コロナ」が、新たな話題になっている。

外は、沖繩134、沖縄を除く国内84、その他23の計画。2025企業・団体が出展。29日から2日間は商談会も行われる。

八重山からは八重山ビジネスセンター（PVA）タナービュロー（PVA）と、石垣島ビーチホテル（PVA）自然資源財団、関西表島観光センター、竹富島地域自

タナービュロー（PVA）と、石垣島ビーチホテル（PVA）自然資源財団、関西表島観光センター、竹富島地域自

タナービュロー（PVA）と、石垣島ビーチホテル（PVA）自然資源財団、関西表島観光センター、竹富島地域自